

株主の皆様へ

第 **113** 期
中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

 **山陽特殊製鋼株式会社**

証券コード | 5481

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第113期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の営業の概況等をご報告申し上げます。

営業の概況

当中間期の特殊鋼業界では、建設・産業機械向けを中心とする前期後半の大幅な在庫調整局面からの回復がみられたものの、第1四半期において発生した自動車の生産・出荷停止の影響等を受け、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は前年同期を下回りました。

こうした中、当社グループの売上高は、外注・物流面を含む労務費の上昇も踏まえた販売価格の改定はあったものの、売上数量の減少などにより、前年同期比168億26百万円減の1,684億23百万円となりました。

利益面では、販売価格の改定によるマージン改善はありましたが、売上数量の減少や前期に発生したスウェーデンの連結子会社OVAKOにおける一過性増益影響の縮小などにより、経常利益は、前年同期比51億81百万円減の26億31百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比37億2百万円減の15億33百万円となりました。

中間配当につきましては2024年7月30日に公表しました配当予想のとおり1株につき20円とさせていただきます。



代表取締役社長 宮本 勝弘

今後の見通し

今後につきましては、産業機械向けで若干の回復の遅れがみられるものの、自動車の生産・出荷停止に伴う影響が終息し、全体としては今後も緩やかな回復が続くと期待されます。一方で、中国・欧州経済の悪化やインフレによる世界経済への影響が引き続き懸念されるなど、厳しい状況が続くと想定されます。

このような中、引き続き販売価格の改定を進めるとともに、コスト削減等の必要な対策を講じ、経常利益130億円を目指してまいります。

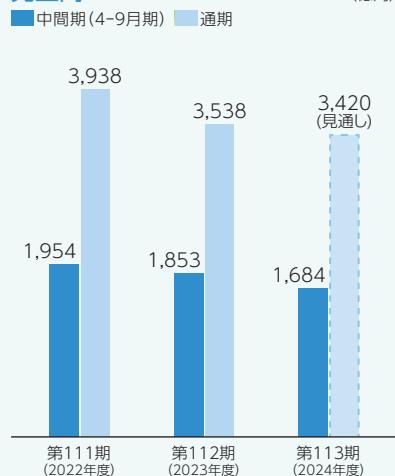
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

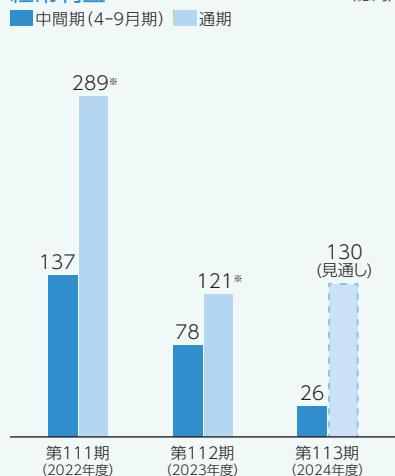
(注)本報告書に記載している業績予想および配当予想につきましては、策定時点(2024年10月31日)において入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおください。

業績ハイライト

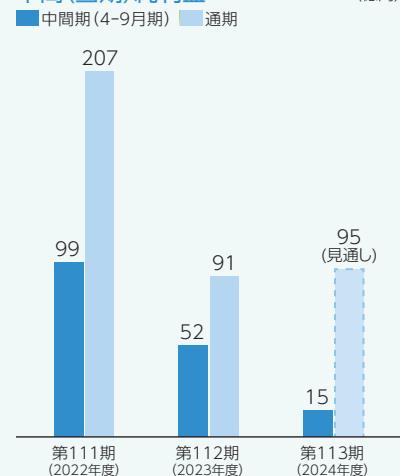
売上高



経常利益



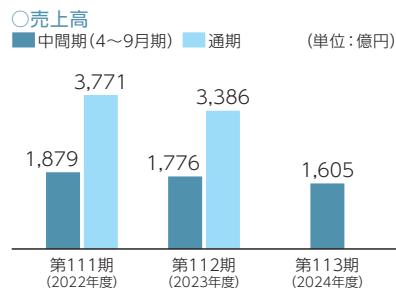
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益



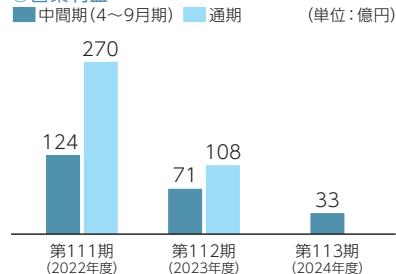
※OVAKOの一過性影響を含む
(2022年度96億円、2023年度31億円)

セグメント情報

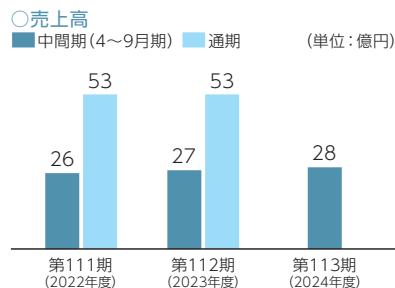
鋼材事業



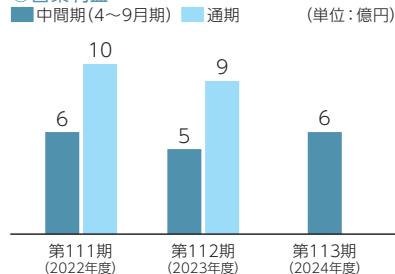
営業利益



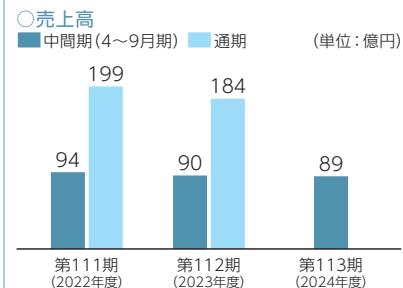
粉末事業



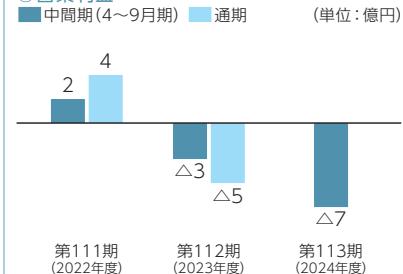
営業利益



素形材事業



営業利益



中間期決算の概要

中間連結損益計算書の概要

(単位：億円)

	第113期中間期 (2024年度上期)	第112期中間期 (2023年度上期)	増減	増減率(%)
売上数量(千トン)	683	739	-56	-7.6
売上高	1,684	1,853	-168	-9.1
営業利益	31	73	-42	-57.6
経常利益	26	78	-52	-66.3
内、当社単独	53	69	-16	-22.9
内、OVAKO	21	51	-30	-59.4
内、SSMI	4	3	+1	+25.0
内、のれん償却費	△17	△16	-1	-
親会社株主に帰属する中間純利益	15	52	-37	-70.7
のれん償却費を除く親会社株主に帰属する中間純利益	32	68	-36	-52.4

中間連結貸借対照表の概要

(単位：億円)

	第113期中間期末 (2024年9月30日)	第112期期末 (2024年3月31日)	増減
資産の部			
流動資産	2,197	2,284	-88
固定資産	1,678	1,703	-25
資産合計	3,874	3,987	-113
負債の部			
流動負債	1,264	1,367	-103
固定負債	338	334	+4
負債合計	1,602	1,701	-99
純資産の部			
株主資本	2,063	2,083	-20
その他の包括利益累計額	195	184	+11
非支配株主持分	14	19	-5
純資産合計	2,272	2,286	-14
負債純資産合計	3,874	3,987	-113

通期業績予想および配当予想

業績予想

(単位：億円、%)

	2024年度業績予想(2024年10月31日公表)		
	上期(実績)	下期(予想)	通期(予想)
売上高	1,684	1,736	3,420
営業利益	31	101	132
経常利益	26	104	130
内、当社単独	53	62	115
内、OVAKO	21	34	55
内、SSMI	4	6	10
内、のれん償却費	△17	△17	△34
親会社株主に帰属する当期純利益	15	80	95
ROE(%)			4.1
のれん償却費を除く 親会社株主に帰属する当期純利益	32	97	129
ROE (%)			5.6

【予想の主要前提（2024年10月以降）】

- ・鉄スクラップ（購入） 45.0千円/t（姫路地区H2市況）
- ・原油（ドバイ） 80\$/BL
- ・為替 145円/\$、160円/€

配当予想

	2024年度中間配当および期末配当予想(2024年10月31日公表)		
	中間(実績)	期末(予想)	通期(予想)
1株当たり配当金	20.0円	50.0円	70.0円

SBTへコミットメント表明

2024年4月、パリ協定が求める水準と整合したGHG(温室効果ガス)*1排出削減目標「Science Based Targets (SBT)*2」へコミットメントレターを提出し、2年以内にSBTの認定取得を目指すことを表明しました。

※1:GHG(温室効果ガス)

Greenhouse Gasの略称。地球温暖化の原因となる温室効果ガスである、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)、パーフルオロカーボン類(PFCs)、六フッ化硫黄(SF₆)、三フッ化窒素(NF₃)の7種類を指す。

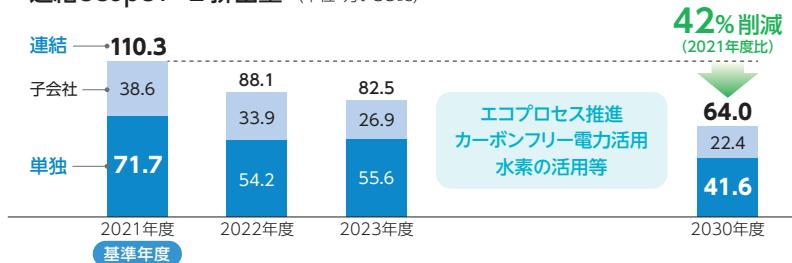
※2:Science Based Targets(SBT)

パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定するGHG排出削減目標であり、5~10年先の目標を設定するもの。

Scope1+2 削減目標見直し

2024年9月、連結でのScope1+2排出量を算定し、SBTのScope1+2認定基準に整合する「2030年度までに2021年度比でGHG(温室効果ガス)42%削減」を目指すことを公表しました。

● 連結Scope1+2 排出量 (単位:万t-CO₂e)



Scope3 削減目標策定 (鉄鋼業界において世界に先駆けた取り組み)

2024年9月、SBT認定取得を目指し、連結でのScope3排出量削減目標を策定しました。SBTのScope3認定基準に整合する「2030年度までに2021年度比でGHG(温室効果ガス)25%削減」を目指すことを公表しました。

● 連結Scope3 排出量 (単位:万t-CO₂e)



Scope1:自社の燃料使用に伴う直接排出

Scope2:他社で生産されたエネルギーの使用に伴う間接排出

Scope3:自社のサプライチェーンに相当するその他の間接排出

再生可能エネルギーの活用

水力発電所由来の再エネ電力を活用開始

2024年4月から兵庫県内の水力発電所に由来する再エネ電力の購入を開始しました。当社の年間使用電力の約5%に相当する年間4,000万kWhを購入することにより、当社の事業所内で排出されるGHG(温室効果ガス)を約17,000t/年削減することが可能となります。

製品倉庫屋上に太陽光発電設備を設置・稼働開始

当社製品倉庫の屋上に太陽光発電設備を設置し、2024年7月から稼働を開始しました。当社の事業所内で排出されるGHG(温室効果ガス)を約260t/年削減することが可能となります。

製品倉庫および本社事務所の年間電力消費量を上回る約60万kWh/年の電力を太陽光発電による再生可能エネルギーで賄うことが可能。



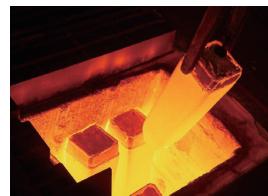
グループ会社の取り組み

OVAKO 水素プラント設備稼働開始

- 世界に先駆けた取り組みを推進しており、2022年より全ての鋼材に気候サーチャージ(プレミアム)を適用したグリーン鋼材の販売を開始。
- 2023年9月より水素プラント設備稼働開始。脱炭素への取り組みをさらに推進中。



水素プラントの電解装置



2020年4月に世界で初めて水素を燃料に用いた鋼片加熱に成功。

SSMI 太陽光発電電力の活用

- 2018年にSBT認定取得。
- 2024年9月より、太陽光発電電力を特殊鋼製造工程で使用開始。これによりSSMIは製造工程で排出するGHG(温室効果ガス)の約25%を削減見込み。



太陽光発電

SSMIの
製造工程で排出する
GHGの約25%
(最大約42,500t/年)
削減見込み



CDP: 2023年度 気候変動スコア「A-」(Aマイナス)取得

「A-」以上のスコアを取得した国内特殊鋼メーカーは当社のみ。

株 式 情 報

■ 株式の状況

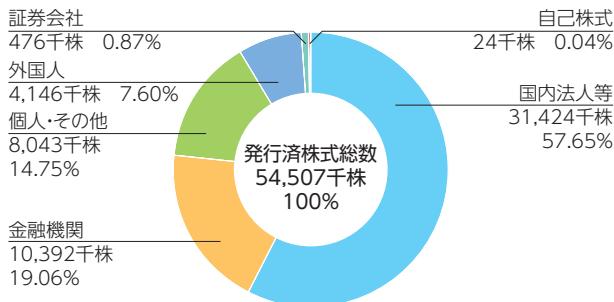
2024年9月30日現在

発行可能株式総数…………… 94,878,400株

発行済株式の総数…………… 54,507,307株

株主数…………… 13,132名

株式の所有者別分布状況



※株式数比率は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本製鉄株式会社	28,863	53.07
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,847	7.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,658	6.73
山陽特殊製鋼共栄会	2,827	5.20
山陽特殊製鋼従業員持株会	802	1.47
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	621	1.14
野村信託銀行株式会社(投信口)	496	0.91
株式会社三井住友銀行	319	0.59
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	319	0.59
JP MORGAN CHASE BANK 385781	315	0.58

※持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

■ 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで

定時株主総会 6月中

同基準日 3月31日

剰余金の配当の 中間配当 9月30日

基準日 期末配当 3月31日

公告方法 電子公告

【当社ウェブサイト】

<https://www.sanyo-steel.co.jp>

事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
(証券コード 5481)

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

(事務取扱場所) 〒540-8639
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(お問合せ先) 【フリーダイヤル】0120-782-031
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

(インターネットホームページURL) (よくあるご質問(FAQ))

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>



https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

